

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) ナカウン株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒703-8264 岡山市中区倉富340-18	
本票作成	部署名：総務部				
主たる業種	分類コード	44	業種名：道路貨物運送業		
事業の概要	岡山県内を中心に、クレーン事業、運輸事業、建設機械・機器リース事業、重量物運搬事業、観光バス事業等の事業展開をしている。従業員260名程。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社事業所		岡山市中区倉富340-18	
	②	水島事業所		倉敷市広江1丁目2756-1	
	③	総社事業所		岡山市北区高松田中209-1	
	④	高梁事業所		高梁市津川町今津863-1	
	⑤	津山事業所		津山市河面1198-1	
⑥	テクノサポート事業所		岡山市中区倉富330-6		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 6 所 ●車両台数 (②該当の場合) 390 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和2)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	5,843 t CO ₂	5,917 t CO ₂	5,550 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和2)年度排出量
	①	本社事業所	4,558 t CO ₂
	②	水島事業所	806 t CO ₂
	③	総社事業所	161 t CO ₂
	④	高梁事業所	82 t CO ₂
	⑤	津山事業所	199 t CO ₂
⑥	テクノサポート事業所	111 t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間：	令和2年度	～	令和6年度	(5箇年度)
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(2)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△1.3%	5.0%	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(2)年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和2年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

令和2年度の実績としては、基準年度の令和元年より1.3%増と目標未達であった。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、観光バスの運行に伴う燃料使用は大幅に減っていたが、規模が大きな事業所(本社、水島)のクレーン、貨物自動車の稼働による燃料使用量が増加したことが原因かもしれない。電気使用量に関しては、各事業所で節電に取り組む必要があると思われる。

【推進体制】

- 社内にエコドライブに係る管理責任部署（安全管理部）を設置し、各事業部及び乗務員に対するエコドライブの推進体制の整備と指導の実施
- デジタル式タコグラフの活用等により乗務員別、車両別等のエネルギーの使用管理体制の整備

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
全事業所 (本社, 水島, 総社, 高梁, 津山, テクノサポート)	(令和2年度実施分) ●各事業所ごとに、毎月の車両燃料使用量と事務所電気使用量を集計することにより、節約意識を持ってもらう。 ●令和2年度の省エネ運転優良ドライバーの表彰。 ●各事業所と連携し、現場までの走行距離を考慮した効率の良い車両手配の実施。 (今後実施予定分) ●乗務員向けの省エネ講習会の実施。 ●燃費効率等を考慮した、新型車両の導入。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--